



編集・発行 三鷹市教育委員会 東京都三鷹市下連雀 9-11-7

MITAKA Education Board みたかの教育

紙面から 2面 / 連雀学園学園長インタビュー / みたかとしょかん図書部！
の紹介 / 三鷹市川上郷自然の村 / 教育委員会の主な活動 ほか

三鷹市教育委員会 ☎ 0422-45-1151

総務課(3213)・学務課(3233)・指導課(3242)・図書館 0422-43-9151 ()内は内線番号

令和元年 2019.9.15

英語教育の充実を図っています

新学習指導要領では、英語の4技能のうち、「話すこと」が「話すこと(やり取り)」と「話すこと(発表)」の2領域になり、話す力が一層重視されます。今後は都立高校の入試にも、事前に実施する「話すこと」の試験結果を活用する予定になっています。三鷹市では、英語で互いの考えや気持ちを伝え合うことができる子どもの育成を目指し、英語教育の充実を図っています。 ⇨指導課☎内線3246

小・中一貫した三鷹市の英語教育

“What sport do you want to watch?” “I want to watch wheel chair basketball. I like basketball.” “Are you good at basketball?” “Yes, I am.”
これは、小学校6年生の児童の授業の中でのやり取りです。オリンピック・パラリンピックで見たスポーツと、その理由を伝え合っていました。このように、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に関連した学習も取り入れています。

三鷹市では、小学校1年生から小・中一貫カリキュラムを活用し、小・中学校の連携の下で一貫した英語教育を行っています。子どもたちは、「英語を実際に使う」授業を通し、臆することなく英語を口にしします。授業ではALT(外国人指導者)とのチーム・ティーチングを取り入れることで、児童・生徒の英語による会話や活動を活発にするとともに、教員が授業を行うために必要な英語力の向上を図っています。



小学校1年生から始める英語の授業

小学校1年生から、ALTの活用以外にも英語の絵本や歌のCD・DVDなどの音声教材を活用し、本物の英語に触れる環境を作っています。英語でコミュニケーションを図る楽しさを体験させながら、英語への興味・関心を育てます。どの学年でも授業で習った表現を使って、会話や活動を楽しんでいます。



ALTによる小学校低学年の授業

中学校の英語科教員による 小学校への相互乗り入れ授業

小・中一貫教育の中で、中学校の英語科教員が専門性を生かし、小学校の英語の授業を補助したり、児童の会話の相手になったり、指導方法について助言したりする、小・中学校間の相互乗り入れ授業を推進しています。



中学校の英語科教員とともに行う小学校の授業

中学校の オールイングリッシュ授業

中学校では、教員が英語を使って指導し、生徒同士も英語を使って、身近な話題について理解したり表現したりしてコミュニケーションを図る活動に取り組んでいます。生徒が、間違いを恐れず、積極的に英語を使おうとすること、英語を用いてコミュニケーションを図る体験を積むことを大切にしています。



オールイングリッシュ授業の様子

教員の指導力向上に向けた研修の取り組み

小学校では、英語の授業づくりについての研修、ALTによる英会話の研修、評価についての研修など、教員の力量や経験に応じた研修を実施しています。中学校では、全英語科教員が参加し、生徒の会話や活動などの英語を使った双方向のやり取りを活発にするための指導方法についての研修を実施しています。また、小・中学校合同で研修会を実施し、専門家の指導を受けたり、授業研究を行ったりして授業改善に取り組んでいます。

教育長の任命



教育委員会 教育長
貝ノ瀬 滋
かいのせ しげる

貝ノ瀬氏は令和元年7月1日付けで三鷹市教育委員会教育長に任命されました。任期は令和3年9月30日までです。

【略歴】昭和50年4月より公立学校教諭として勤務。平成11年4月から平成16年9月まで三鷹市立第四小学校長を務める。平成16年10月から平成27年9月まで三鷹市教育委員会委員に就任し、教育長、委員長を務める。また、内閣官房教育再生実行会議有識者委員、東京都教育会会長、文部科学省参与、福島県復興教育アドバイザーなどを歴任。

教育・この先の三鷹

教育長 貝ノ瀬 滋

私の願いは、「どんな人も誰もが大切にされる学校及び教育、そして社会の実現です。」
そのためには、本当の意味で、「一人ひとりが、その持てる力を発揮し、豊かで幸せな人生を送っている社会を共に創ることが出来る人づくり」の教育を推進します。また、その具体的な生涯にわたる学習や、教育改革プランを多くの方々と検討し、共有しながら、実現していきたいと考えています。

特に、子どもたちは、これからの社会が、どんなに変化し予測困難であっても、自分で課題を見つけ、自ら学び、考え、判断し、そして行動できる力を持ち、幸せな人生を歩んで欲しいと切に思います。

それは、何よりも、「自分さえよければいい」ではなく、仲間と共に明るい未来を共に創っていく「人間力、社会力」に満ち、その将来に大きく羽ばたくことができる、教育の実現に全力を尽くしたいと思っています。

本市の教育は、「コミュニティ・スクール」を基盤とした小・中一貫教育を推進しており、全国の学校のロールモデルとなっていて、いまだ全国からの視察も絶えません。

しかし、現在では、「コミュニティ・スクール」一つとっても、全国の公立学校七千校余りが「コミュニティ・スクール」になり、三鷹が学ばべき魅力的で特色ある教育がたくさん展開されています。

私たちは、来年度から始まる新しい学習指導要領の趣旨や社会の大きな変化を見据え、三鷹市の教育は、新たな学びへと進化を目指さなければなりません。

そこで、子どもたちが社会に出てからも学校で学んだことを生かせる真の学びの力「生きる力」の育成を各学校の先生方と共に進めていきます。

そのことは、一人ひとりに応じた教育「個別最適化」の教育を目指すと共に、ICT環境や先端技術の整備と活用も図らなければなりません。

今後、インクルーシブ教育の理念を念頭に、誰一人置き去りにしない教育を目指したいと思います。

そのためには何といたっても三鷹の地域ぐるみの教育「スクール・コミュニティ」の実現が必須です。私の教職最後のステージとなった三鷹の教育改革、市民の皆さんと共に着実に改革を進めます。

学園長に 聞く！

三鷹市では、7つの中学校区ごとの「学園」で、コミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育を行っています。今号から、学園長(※)にお聞きした「我が学園」ならではの特色や取り組みについて、順番に紹介していきます。

※学園長は、学園を構成する小・中学校の校長の中から教育委員会が指名しています。

「連雀学園」自慢の取り組み

連雀学園

(第一中・第四小・第六小・南浦小)

やまぐち な ほ こ
山口菜穂子

学園長

(第六小学校長)



市内最大規模の学園、豊富な人材

昨年度、開園10周年を迎えた連雀学園は、小学校3校と中学校1校を合わせて、児童・生徒2,800人、教職員200人以上からなる市内最大規模の学園です。「最大の学園だからこそ最大の成果を」を合言葉に、4校が一体となって子どもたちの教育活動に取り組んでいます。

学園内の小学校4年生と5年生で実施している「選択交流学習」では、一中を含めた4校の教員が担当する15の講座から興味のあるものを選び、他校の友達や教員とともに学びます。6年生の「一中体験」にも4校の大勢の教員が関わっています。

地域の人財が豊富なことも連雀学園の強みです。コミュニティ・スクール委員会の人脈のお力で、今年度は中学校1年生の「職業人の話を聞く会」に29人もの講師をお招きできました。三鷹の森ジブリ美術館でのお泊り会など、子どもたちが地域で多くの貴重な経験ができることも、皆様のご尽力のおかげです。



© Museo d'Arte Ghibli

7月23日に実施されたジブリ美術館お泊り会。ネコバスで遊ぶ子どもたち

「知的コミュニケーションを活かした学び」の成果

連雀学園では、「知的コミュニケーションを活かした学び」を研究テーマとして、子どもたちの思考力・判断力・表現力などの育成に取り組んできました。昨年度は開園10周年にあたり、児童会・生徒会の子どもたちが「連雀学園の10年後」をテーマに熟議を行い、そこで出た意見をもとに「児童・生徒宣言」をまとめ、11月に開催した3学園合同の開園10周年記念式典の舞台で発表しました。中学生が小学生をリードしながら積極的に意見を出し合いまとめていく熟議の様子、式典の舞台で自らのことばで堂々と発表する様子を見て、学園の教育活動の成果を実感することができました。

これからも学校・家庭・地域の連携のもとに

先日、保護者、コミュニティ・スクール委員、教員による「おとな熟議」を開催しました。そこでは、学力とともに、子どもたちの心力と体力の向上に重点的に取り組む必要性が共有され、活発な議論が展開されました。このように、連雀学園は開園の当初から、子どもたちのより良い育ちのために真剣に考えてくださる多くの人に恵まれ、これらの「人」がまさに連雀学園の宝であると思っています。



連雀おとな熟議

平成30年度 三鷹市立小・中一貫教育校(学園) 評価・検証を行いました

各学園では、コミュニティ・スクール委員会による学校関係者評価を経て、その年度の学園運営、教育活動の成果や、課題と改善策、課題解決のための創意工夫、改善策の有効性などについて評価・検証を行い、その結果を年度末に教育委員会に報告しています。

平成30年度の評価・検証結果の報告書については、市ホームページに掲載しています(右の二次元コードからもアクセス可)。

⇒指導課 ☎ 内線 3245



平成30年度 教育委員会主要事務事業の 点検・評価を実施しました

教育委員会では、平成30年度の主要事務事業の実施状況について、点検・評価を行い、報告書をまとめました。この報告書は、コミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育の充実と発展など、16の主要事務事業について、進捗状況や成果を評価し、今後の取り組みと課題を明らかにするものです。

報告書については、市ホームページ、市政資料室(本庁舎2階)、図書館各館および総務課(教育センター1階)で閲覧できます(右の二次元コードからもアクセス可)。

⇒総務課 ☎ 内線 3213



おはなし会の様子

おはなし会は、読書好き、図書館好きな中学生、20歳前後のメンバーが集まったグループです。今年度で創部6年目となり、現在部員は27人で中学生も多く参加しています。毎月第一日曜日の午後、三鷹図書館(本館)で定例会を開いて活動しています。

※ビブリオバトル：おすすめの本を紹介し、投票によって一番読みたい本を決める書評ゲーム。「知的書評合戦」とも呼ばれている。

↓三鷹図書館(本館)
☎ 43-9151

図書館で部活しよう！ みたかとしよかん 図書部！

みたかとしよかん図書部！(以下、「図書部」)は、読書好き、図書館好きな中学生、20歳前後のメンバーが集まったグループです。今年度で創部6年目となり、現在部員は27人で中学生も多く参加しています。毎月第一日曜日の午後、三鷹図書館(本館)で定例会を開いて活動しています。

※ビブリオバトル：おすすめの本を紹介し、投票によって一番読みたい本を決める書評ゲーム。「知的書評合戦」とも呼ばれている。

↓三鷹図書館(本館)
☎ 43-9151

おはなし会の企画運営、中学生・高校生世代向けの本を集めた三鷹図書館(本館)ティーンズコーナーの装飾などを行っています。8月8日に開催した幼児向けのおはなし会では、事前に何度も練習を重ね、子どもたちへのプレゼントも準備しました。「楽しんでもらいたい」という部員の気持ちが伝わり、大盛況でした。現在は11月に予定されている図書館フェスタで開催するビブリオバトルの準備を進めています。

図書部！の魅力は、年齢も学校も異なる仲間たちと、本や図書館について語り、一緒に楽しめることです。部員は随時募集しています。ぜひ一度、図書部！の定例会をのぞいてみてください！

三鷹市川上郷自然の村

長野県の川上村にある三鷹市の校外学習施設・市民保養施設です

バスツアー参加者を募集中です！

川上郷自然の村では、三鷹市役所発着のバスツアー(1泊2日)を開催しています。信州川上郷の四季折々の魅力や旬の味覚を満喫できる、往復の交通と宿泊がセットになった大変便利でお得なツアーです。

三鷹市在住・在勤・在学以外の方もお申し込みいただけますので、ご家族・ご友人と一緒にぜひご参加ください！
⇒総務課 ☎ 内線 3213

◆現在募集中のバスツアー

「秋のトレッキングツアー」

10月12日(土)～13日(日)

紅葉が美しい秋の高原を散策する、トレッキング初級者から中級者まで楽しめるツアーです。



秋のトレッキングツアーにて

「星空観望ツアー」

11月2日(土)～3日(祝)

講師のレクチャーのもと、標高約1,500mの川上郷自然の村で星空観望を行います。小さなお子様にもおすすめです。

「秋のトレッキングツアー」は9月28日(土)までに、「星空観望ツアー」は10月19日(土)までにJWTTジャパンウインズツアー(株)(0267-66-1268)へ電話でお申し込みください。

今後のバスツアー
開催予定

「温泉巡りツアー」.....12月14日(土)～15日(日)

「スキー・スノーボードツアー(第1回)」.....1月25日(土)～26日(日)

「スキー・スノーボードツアー(第2回)」.....2月15日(土)～16日(日)

「スノーシューツアー」.....3月7日(土)～8日(日)

※開催日の約2か月前に、広報みたかや市ホームページに掲載いたします。

※ツアーの名称や内容、開催日は変更になる場合があります。

宿泊の
お申し込み・
お問い合わせ

三鷹市川上郷自然の村
〒384-1406 長野県南佐久郡川上村大字原591番地362

☎ 0267-97-3206 FAX 0267-97-3207

HP <http://www.sizennomura.jp/>

教育委員会の主な活動

教育委員会では、毎月、定例会を開催し、基本方針の決定や規則の制定改廃などの議案について審議を行っています。
また、学校訪問を実施し、学校経営・授業などに対し指導・助言を行うほか、保護者との懇談会や学校の研究発表会、都内教育委員会相互の連絡会に出席するなど、学校の状況や教育行政をめぐる諸課題の把握に努めています。

教育委員会の会議の開催予定や会議録は、市ホームページに掲載しています。

平成31年4月～令和元年8月の 主な審議案件と活動

4月

○平成31年度事業計画の承認
○三鷹市立学校教育職員出勤簿整理規程の一部改正
○三鷹市いじめ問題対策協議会委員の委嘱または任命

●東京都市町村教育委員会連合会会計監査
●教育施策連絡協議会
●東京都市町村教育委員会連合会常任理事会・理事会

5月

○副校長人事の内申
●学校訪問(南浦小学校)
●東京都市町村教育委員会連合会定期総会
●全国市町村教育委員会連合会定期総会

6月

○三鷹市立図書館協議会委員の任命
○三鷹市社会教育委員の委嘱
○三鷹市立第一中学校長寿命化改修Ⅱ期工事請負契約の締結の申出に係る臨時代理の承認

○令和元年度一般会計補正予算見積書に係る臨時代理の承認
●東京都市町村教育委員会連合会研修推進委員会

7月

○令和元年度教育に関する事務の管理および執行の状況の点検および評価(平成30年度分)
●学校訪問(第六中学校)

●教科用図書の採択に伴う懇談会
●東京都市町村教育委員会連合会研修推進委員会
●東京都市教育長会研修会

8月

○令和2年度使用小・中学校教科用図書および小・中学校教育支援学級用教科用図書の採択
●東京都市町村教育委員会連合会常任理事会・理事会・理事研修会
(○は会議の案件、●は会議以外の活動)

↓総務課 ☎ 内線 3213